

住みよいたけし

住みよい武石をつくる会広報

第9号

2018年10月16日発行

事務所 武石地域自治センター内
TEL:0268-85-3667
<http://www2.marukotv.jp/~s-takeshi>
印刷 中澤印刷株式会社



わくわく通学合宿 ～みんなと一緒に宿題は楽しいよ～

昨年9月に武石地域としては初めて実施され、今回2回目となる通学合宿が10月3日(水)から6日(土)の3泊4日で、武石公民館において実施され、武石小学校の4年～6年生 22名が参加しました。

通学合宿は、異年齢の集団での共同生活体験を通じて、友達作り、自主・自律的生活体験、新しい自分を発見する機会を作ること为目标としています。

子どもたちは、朝公民館から武石小学校に通学し、学校が終わると夕方公民館に帰ります。皆で宿題をし、夕食準備を手伝い、お風呂(うつくしの湯、雲溪荘)に入って就寝する団体生活。親元から離れ、友達と4日間も過ごすのは、特に4年生にとっては初めてのこと。不安とわくわく感が入り混じる貴重な体験となりました。

運営には、生活改善グループ、青少年健全育成連絡協議会、民生児童委員、PTA、長野大学生など多くの団体、ボランティアが協力しました。

今年は、住みよい武石をつくる会の児玉卓文会長が実行委員長となり、子育て・教育文化部会員が運営に全面的に協力しました。



通学合宿は、二回目の参加になります。昨年は、公民館で泊まって学校へ行く、いつもと違う場所、人との生活で、学校生活が送れるのか心配でした。そして何よりも、自分のことが自分でできるか、体調が悪い時等、人に助けが求められるかどうか? しかし、とても良い顔で帰ってきました。そして、また今年も参加したい。

今年は公民館建て替え前最後になります。友達、支えてくれる方々と武石の公民館でよい思い出をたくさん作ってほしいと思います。そして互いの大切さを感じる時間としたいです。

参加児童の母 Yさん



武石を盛り上げる
人やグループ紹介

武石の人 団体

武石・未来・ つながるプロジェクト



「武石・未来・つながる
プロジェクト」代表
清住淳也さん

清住淳也さんが代表を務める「武石・未来・つながるプロジェクト」は、昨年の秋に武石を愛する20代から40代の有志5人で設立されました。人口減少や子供が減っている現状から抜け出し、武石の素晴らしいものを未来に残そうと、地域の活性化を目指して活動する団体です。活動の目標は、「武石地域を、子育て世代、若者が未来に希望を抱き、世代を超えて住み続けられる場所にする」というもので、「武石を世界に向けてブランド化できる地域へ!」を目指して活動を行っています。

「武石をブランド化」とは、武石でしか体験できない、味わえない、学べない等々、他には無い特別で本格的な魅力あるものを作り出す事で、イベントや施設、生活や子育て支援の取り組みなど、様々な検討をしています。

「ブランド化するものをいくつか立上げ、また組合せする事で、たくさんの方が武石へ来て、良さを知り、住みたいと思ってもらえれば、「住み続けられる武石」へつなげる事ができる。目標達成は、10年、20年先になるかもしれないが、今の活動がそのきっかけになれば」と清住さんは話します。

団体の名は、「武石の未来につながる」という事の他に「武石の外の地域とつながる」という意味も込められていて、長和や、立科、望月、東御、真田、別所などで同じような考え方や活動をしている団体との連携を行っており、武石のみではできない事業は、「近隣地域と連携して未来につなげたい」との思いもあります。

現在進行中の企画が「忍者プロジェクト」です。これは「忍者」をテーマにした観光ビジネスで、一般的な観光地の忍者ショーや忍者館などとは全く異なる、参加・体験型で、本当に好きな人でないとやれないような本格的なものを考えています。

これを「武石忍者」としてブランド化、日本のみならず世界中からたくさんの忍者ファンが武石へ来てくれるようになればと期待しています。まずは今年の7月「忍者養成講座」をスタート、忍者の知識や忍



▲手裏剣投げの実習



術の技能を4段階にステップアップして習得する講座を組み、熱心な忍者ファンを増やしていきたいとの事です。

さらに、古民家を活用した民泊事業、古い峠道を使った山歩きルートの開発・整備などアイデアは尽きません。

最後に、武石の皆さんに向けたメッセージです。

- ①現在たくさんの企画を検討していますが、人手が足りません。若い方で活動に興味のある方、参加してみたい方はぜひ連絡をお願いします。
- ②古民家や山林を使った事業を検討しています。その際は、所有者、地権者の皆さんには、活動の主旨、目的をご理解のうえ、ご協力をお願いします。
- ③行政や地域団体と情報交換や連携を深めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

との事です。

「忍者プロジェクト」など、一見単なる遊びのイベントではないかと思われがちですが、「武石の素晴らしいものを未来に残す、住み続けられる武石にする」という最終目標があり、その達成に向けた活動である事を理解をいただきたい」と今後の抱負を話していました。

詳しい情報は…

武石・未来・つながるプロジェクト

検索

☎0268-71-0114 cafe 和(かのう) 清住さん

武石夏祭りに参加 スイカ割り

ふれあい交流部会

住みよい武石をつくる会では、地域活動に積極的に関わっていきこうと武石夏祭りでスイカ割りイベントを開催しました。

突然の雨で、お客様の出足が心配されましたが、流しソーメンやゆかたdeショーに訪れた親子が会員の呼びかけでスイカ割りに挑戦しました。

「もうちょっと右、一歩前」周りからからの掛け声で上手にスイカに命中・・・？ 最後に会場の皆さんにスイカが振る舞われました。



たけしカルタ歴史さんぽみち

子育て・教育文化部会

8月25日(土)「たけしカルタ歴史さんぽみち」が行われました。この催しは、今年1月に開催された「たけし共育フォーラム」でたけしふるさとカルタを使ったカルタ会を開いたところ、カルタに記された、史跡、文化財などを巡りたいという意見が多く寄せられたことから実施されることになり、今回は特に沖、鳥屋地域の中で詠まれている文化財を巡りました。

当日は、親子連れから年配者まで一般参加者25名と部会員など40人ほどが参加し、講師は、郷土史研究家でもある本会の児玉卓文会長が務めました。

最初に訪れたのは下沖の牛石様です。かつて、武石の荒野を焼き払い農民に土地を分け与えたという、笹焼明神を乗せてきた牛がこの場で力尽き息絶えて石になったと伝えられ、後に石に材木が当たったところから牛の乳が出たとも伝えられています。

牛石様が祭られているのは、かつて武石に入る街道で、武石に嫁いできた花嫁は、山峡の入り口で嫁入りの覚悟を決めたんだらうという講師の話に、参加したご婦人方は苦笑いをしながら妙に納得していたようでした。説明の後、参加した保育園児が「笹焼明神を乗せてきた牛石様」とカルタを大きな声で読み、全員で復唱しました。笹焼明神は小山の東側沖集落を一望できる高台に建つ神社に祭られており、こちらも訪れました。



その小山に向かう途中で、洞川と市道に挟まれた一角に立ち寄りしました。ここは、道祖神と鎌倉時代の五輪塔が祭られています。五輪塔は、1.5メートルほどあったと思われませんが、現在は頂部のみが残っています。沖には五日町という地名(小字)があり、五のつく日には市が開かれ賑わっていたものと考えられ、五輪塔は、かつてこの地に勢力があった豪族のお墓と考えられています。

鳥屋地域では、地元の小池文男さんに案内いただき、元禄八年の双体道祖神を見学したのち、石尊山山麓の弥勒堂を訪れました。鳥屋自治会長のご配意により、普段は鍵がかかっている弥勒様を拝観することができました。

一連の文化財を巡ったのち、鳥屋公民館において、これを食べると風邪をひかないといわれる石尊山で焼いたジャガイモに見立てた、蒸しジャガイモをいただきながら感想の会を持ちました。

地域に埋もれがちな文化財、伝承を再発見する機会となりました。

「サテライト市長室」で意見交換

9月5日(水) 市長が地域に出かけ、地域の実情を視察したり住民と懇談するサテライト市長室が武石自治センターで行われました。4月に就任以来、土屋市長にとって初めての武石でのサテライト市長室。この日は、各種施設の視察や各種団体代表との懇談が持たれました。

午前中は、武石・未来・つながるプロジェクトの清住淳也さん、武石風土つなぎ隊の柳沢裕子さんと懇談しました。地域おこしを実践している主体として、活動内容の紹介や、空き家・空き店舗の活用、峠道を利用した地域づくりなど将来の展望について市長と懇談しました。

午後は、本会の児玉会長、児玉・広川副会長や武石地域自治連、武石地域協議会各正副会長計7名との意見交換会が持たれ、松くい虫対策、雲溪荘などの施設運営、住民の足の確保など武石地域の抱える課題について意見や要望が出されました。中でも、地域住民の熱意により昨年実現し、地域情報

本会正副会長 自治連、地域協議会正副とともに

の発信をしているエリアトークの取り組みを市長に紹介し、今後の地域づくり活動について、市長と意見交換をしました。

市長は、「それぞれの組織・団体が使命感をもって地域課題に取り組んでいることがよく分かった。市としても地域を盛り上げていきたい。」と話していました。



イベント&お知らせ

●ともしびの里駅伝大会…10月28日(日)

10:30スタート 7区間 87チーム出場

●ともしびの里文化祭…11月3日(土)～4日(日)

会場▶武石公民館ホール、第1会議室

内容▶絵画、書道、写真、手芸、盆栽、菊展等

●第24回武石支所JAフェスティバル

…11月3日(土)

農・海産物即売、馬肉うどん、そば販売、農機具など各種展示販売等催し物多数

●武石おさんぽギャラリー 秋

「集まれ！ 仮装大賞」…11月3日(土) 13:00～

好評だったこの春を受け、第2回を開催します。

“みんなで出よう、みんなで観よう”が合言葉。

「あの人」の趣向を凝らした変身ぶりを楽しみましょう。

会場▶旧ジェイエイ店舗内

主催▶武石風土つなぎ隊

●第3回たけしけんこうウォーキング

…11月4日(日)

健康チェックの後、美しの国トレッキングコースでウォーキング、雲溪荘で昼食。秋の一日を運動と食事で楽しんでみては。

※詳細は、自治会回覧のパンフレットを参照

●上田市大規模火災想定訓練…11月4日(日)早朝

上田市消防団の大規模火災想定訓練が、沖小山、子檀嶺神社周辺で開催されます。

●第4回晩秋の武石スポーツ祭り…11月11日(日)

「あした天気にな～れ」

●ワンコイン地域ふれあいコンサート

…11月17日(土) 14:00

会場▶武石公民館ホール

内容▶加藤文枝(チェロ)

料金▶500円/中学生以下無料/未就学児入場可

問▶サントミュージゼ ☎27-2000

●武石住民会議…11月21日(水) 18:00

会場▶武石公民館ホール

内容▶井内科医院 井益雄院長による講演

主催▶武石地区社会福祉協議会

●鬼平犯科帳にみる江戸の灯火器展

～ともしび博物館開館30周年記念事業～

池波正太郎の小説鬼平犯科帳に描かれている灯火器具の展示が12月24日(月)まで開催されています。江戸中期の生活に息づくともし火を再認識しましょう。

開館時間▶9時～16時 月・祭日の翌日休

会場▶ともしび博物館